

## 天守台、江戸城本丸の基部

ここは江戸城本丸の跡地で、その天守閣は当時の日本で最も高い建物でした。1657年に起こった明暦の大火によ

りこの地に建てられた3つ目の天守閣が消失した後、第4代将軍徳川家綱（1641～1680）は直ちにその再建

を開始し、1658年までに基礎部分を完成させました。しかし、安定し平和になった日本ではそのように巨大で圧倒的

な建物は必要なくなる、と家綱の叔父が指摘したことを受け、天守閣の建造は中断されました。未完成となった塔の

土台部分は、2つの長方形で構成されています。南北に46メートル、東西に42メートル、高さ10メートルの大き

な方が天守閣の基礎として、そして小さな方が入場スロープとして作られました。

## 写真の説明

1. 江戸景色の詳細、1組の6枚屏風（国立歴史民俗博物館）